

とまこまい 市議会だより

TOMAKOMAI CITY COUNCIL NEWS

■ 編集・発行

苫小牧市議会 とまこまい市議会だより編集委員会
〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号
TEL 0144-32-6785 FAX 0144-33-1839
URL <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gikai/>

第14号 平成28年5月10日発行



第5回定例会を開催いたしました。

平成28年度 一般・企業会計予算審査特別
委員会を開催いたしました。

(平成28年2月26日(金)～3月18日(金))

がんばろう熊本

被災された皆様へ、
心からお見舞い申し上げます。

CONTENTS

第5回定例会概要	2p
委員会報告	4p
一般・企業会計 予算審査特別委員会概要	5p
市議会トピックス	5p
会派のページ	6p
【スポット】 一問一答方式 今までとどう違うの?	12p
議会からのお知らせ	12p

『ふくし大作戦!! 2016』『つなごう スポーツ大作戦』
『とまチョップポイント事業』など
平成28年度予算 総額1,346億2,536万8千円が可決!

第5回市議会定例会は、2月26日(金)から3月18日(金)まで開かれ、議案45件、報告4件、陳情4件、要望意見書2件、決議1件などの審議が行われ、「平成28年度各会計予算案」が可決されました。

基本政策となる財政健全化、行政改革、市民自治の推進、今年度の重点施策である企業誘致、景気・雇用対策、観光まちづくり、C A P(まちなか再生総合プロジェクト)、災害に備えたまちづくり、ふくし大作戦!! 2016、つなごう スポーツ大作戦、教育行政、子ども・子育て支援、広域連携、さらに、総合計画の体系に基づく5つのまちづくりの目標に沿って、28年度の主要施策を掲げた市長の市政方針及び教育長の教育行政執行方針に対し、6党派6名の議員が代表質問に立ち、人口ビジョン及び総合戦略、市長公約、特別支援教育、安全・安心なまちづくり、消防・救急体制の強化、市立病院などについて、議論が行われました。

また、各常任委員会・特別委員会では陳情の審査のほか、苫小牧市バリアフリー基本構想(案)、第2期苫小牧市地域福祉計画、苫小牧市観光振興ビジョン概要、水道料金口座振替の推進、米軍再編に伴う米軍機訓練移転、災害時応援協定の締結などについて質疑が行われました。

また、各常任委員会・特別委員会では陳情の審査のほか、苫小牧市バリアフリー基本構想(案)、第2期苫小牧市地域福祉計画、苫小牧市観光振興ビジョン概要、水道料金口座振替の推進、米軍再編に伴う米軍機訓練移転、災害時応援協定の締結などについて質疑が行われました。

今定例会で審議された主な内容と結果は次のとおりです。

報告

市有自動車の物損事故に伴う損害賠償額の決定の専決処分が報告され、一般会計及び企業会計予算審査特別委員会の審査結果は委員長報告どおり決定されました。最終日には、厚生委員会に付託された陳情2件の審査結果が委員長報告どおり決定されました。

議案

人事案件

苫小牧市教育委員会教育長に、和野幸夫氏を任命することに同意しました。

また、苫小牧市固定資産評価審査委員会委員の選任について、引き続き増田松美氏、椎名貴誇氏を、新たに大沼徹氏を選任することに同意しました。

さらに、苫小牧市固定資産評価委員の選任について、新たに佐藤裕

氏を選任することに同意しました。

業費確定により年割り額などを変更する継続費の変更、土木費の28年度予算の早期発注事業に伴う債務負担行為の追加などが原案どおり可決されました。

27年度補正予算及び関連議案

一般会計では、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用した災害用備蓄品整備事業費、個人番号カードの発行に要する交付金の増額とあわせて繰越明許費の追加をする戸籍住民登録事務経費、ふくし大作戦!! 2016のオープンニングイベント準備経費、指定寄附のほか過去の繰替運用の繰戻し分を積立てる福祉ふれあい基金積立金、国の補正予算に伴う低所得の高齢者に対する給付金支給事業とあわせて繰越明許費の追加をする臨時福祉給付金支給事業費、28年度で予定していた住吉町公営住宅の給水設備改修で、27年度の国補助事業の内示に伴う繰越明許費の追加とあわせて増額補正する給水設備等改修事業費、保険基盤安定拠出金の増による国民健康保険事業会計繰出金、繰出基準内での算定方法見直しによる増額の市立病院事業会計繰出金、土地売却収入などを今後の公共施設老朽化対策の財源として積増しする公共施設整備基金積立金など総額2億1,982万4千円の増額、民生費、環境衛生費、土木費、教育費で事

業費確定により年割り額などを変更する継続費の変更、土木費の28年度予算の早期発注事業に伴う債務負担行為の追加などが原案どおり可決されました。

また、関連議案として、総合体育館等3件に係る指定管理者の指定について、原案どおり可決されました。

さらに、国の補正予算に基づき、苫小牧イノベーション基盤構築事業費、旧サンプラザビル安全対策等事業費など総額7億4,359万4千円を増額する補正予算が可決されました。

特別会計・企業会計では、保険給付費などの確定及び見込みの整理、事業費の確定に伴う減など総額3億9,117万4千円の減額、早期発注事業として水道事業会計では、配水管改良などの工事費、下水道事業会計では、下水道管渠築造費の債務負担行為の追加などが原案どおり可決されました。

28年度予算及び関連議案

28年度予算は、一般会計及び企業会計予算審査特別委員会に審査が付託され、一般会計、特別・企業会計8会計全て全会一致で原案可決し、委員長報告どおり決定し

ました。なお、市立病院事業会計には、特別利益の繰り入れが生じることがないよう経営改善を進めるよう求めるとの決議を付帯することを決定しました。

これにより、28年度の一般会計予算総額は、778億2,400万円、また国民健康保険事業など4特別会計の総額は、350億7,901万9千円、水道事業など4企業会計の総額は、217億2,234万9千円となりました。

また、関連議案として一般会計予算審査特別委員会に審査が付託された、法の全部改正に伴い本市に設置する行政不服審査会の組織及び運営等を定めるための「行政不服審査法施行条例」、法の全部改正に伴い関係条例を整備する「行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例」の制定、職員定数の増員を行うため関係規定を整備する「職員定数条例」、増築又は改築に係る長期優良住宅の審査に関する手数料等を定めるため関係規定を整備する「手数料条例」、はまなす保育園を廃止するため関係規定を整備する「保育所条例」、おやつ提供を受ける場合の利用料を定めるため関

係規定を整備する「放課後児童クラブ条例」の一部改正について、委員長報告どおり決定しました。

企業会計予算審査特別委員会に審査が付託された、介護予防・日常生活支援総合事業を28年度から実施するため関係規定を整備する「介護保険条例」の一部改正について、委員長報告どおり決定しました。

28年度補正予算

国の27年度補正予算の成立に伴い、28年度予算に計上した事業のうち、地方創生地域コミュニティ活性化支援事業のほか、小中学校の工事費3件を27年度に繰り上げて実施することとした28年度一般会計予算、水道メーター検針等業務委託費の労務単価増に伴う債務負担行為の追加による水道事業会計補正予算が可決されました。

28年度一般会計の主な新規事業

放課後児童クラブシステム事業、コンビニ交付システム事業、豊川コミュニティセンター大規模改修事業、日本女性会議2017とまこまい準備事業、つなごうスポーツ大作戦、スポーツ都市宣言50周年記念、防犯対策事業、土砂災害対策環境整備推進事業、ふくし

「行政不服審査法施行条例」、 「行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例」、 「消費生活センター条例」の制定、 「建築審査会条例」、 「特別職の職員の給与に関する条例」、 「手数料条例」、 「保育所条例」、 「ばい捨てによる空き缶等の散乱の防止に関する条例」、 「介護保険条例」、 「放課後児童クラブ条例」、 「市立病院事業の設置等に関する条例」等18条例が、原案どおり可決されました。

また、総合体育館等3件の「指定管理者の指定」、「市道路線の廃止」、「市道路線の認定」についても、原案どおり可決されました。

陳情

《今議会に提出された案件》
(カッコ内は付託された委員会)

「趣旨採択」
● 介護報酬の再改定を求める要望意見書提出に関する陳情(厚生委員会)

継続審査

● アイヌ文化教育に関する陳情(文教経済委員会)

● 市長選挙と市議会議員選挙の統一選挙実施に関する陳情(議会運営委員会)

不採択

● アイヌ文化活動に関する陳情(厚生委員会)

意見書

「介護報酬の再改定を求める要望意見書」、「児童虐待防止対策の抜本強化を求める要望意見書」の2件が原案どおり可決され、関係機関に提出されました。

決議

安全・安心特別委員会の所管に市民ホールの建設に関する事項を追加した「安全・安心特別委員会設置に関する決議の一部を変更する決議」が全会一致で原案どおり可決されました。

常任委員会

「第2期苦小牧市地域福祉計画について」などを議論

総務委員会

小山 征三 委員長

所管事項のうち「苦小牧市バリアフリー基本構想案」では、交通結節点である駅や駅前広場を中心とするような範囲を「面」として、広がりをもったバリアフリー化を推進するため、「バリアフリー新法」による基本構想を策定したことが示されました。

また、「防火地域及び準防火地域の変更(案)」では、市街地の安全性と適正な区域を確認するため、火災延焼シミュレーションを実施し、適正な指定範囲の見直しを行ったことが明らかとなりました。今後は、都市計画審議会、北海道との協議を進めていくことが示されました。



まちなかのバリアフリー

厚生委員会

神山 哲太郎 委員長

付議事件の「アイヌ文化活動に関する陳情」では、類似した活動に対し助成した実績がないため、公平の観点から難しいとの意見が出されました。また、「介護報酬の再改定を求める要望意見書提出に関する陳情」では、介護報酬の改善はあったが、事業者の経営や物価の動向などを考慮すると、厳しい現実があるとの認識で各会派が一致しました。

所管事項では、「第2期苦小牧市地域福祉計画について」に議論が集中し、具体的な内容が乏しいなどの意見が相次いだ質疑となりました。



介護予防に気軽な体操

文教経済委員会

矢嶋 翼 委員長

教科書会社が、検定中の教科書を

を教員に見せて謝礼を渡していた

「教科書謝礼問題」では、市内で計3社が教員に交通費として現金を渡しており、個別に事実確認をして道教委に報告したと答弁がありました。

また、「苦小牧市観光振興ビジョン概要について」では、現在186万人の年間観光入込客数を平成34年までに250万人とする目標の説明があり、質疑で年次ごとにその達成度を検証すると答弁がありました。



透明性が求められる教科書検定

建設委員会

竹田 秀泰 委員長

所管事項の「水道料金口座振替の推進」について、平成24年度からの加入キャンペーンの検証報告があり、「収納率の安定・向上には、口座振替制度が大きな役割がある」との報告がありました。平成15年度に策定された「緑の基本計画」の改定案である「緑の基本計画(案)概要版」について、

特別委員会

米軍再編に伴う米軍機訓練移転について質疑

総合開発特別委員会

金澤 俊 委員長

今委員会では、「米軍再編に伴う米軍機訓練移転について」、「平成28年度苦小牧港港湾整備事業予算及び平成27年苦小牧港の港勢について」の2件について報告を受けました。

このうち、1月12日〜22日にかけて行われました「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する報告書(中間)」については、2名の委員が質問に立ち、市街地上空の飛行についてや訓練移転後の沖繩の負担軽減等について質疑を行いました。



緑あふれる街づくり

安全・安心特別委員会

小野寺 幸恵 委員長

災害に強いまちづくりに向けて活発な提案

「災害時応援協定の締結について」、「避難所運営マニュアル(案)の策定について」、「苦小牧市地域防災計画及び苦小牧市水防計画の改正案について」、「苦小牧市災害時備蓄計画(案)の策定について」が示され、各委員から町内会への丁寧な説明や、福祉避難所での訓練実施、トイレの使用ができなくなった場合の下水道管路の活用策など、積極的な提案がありました。

また、その他事項で国が推進する「事前復興計画」策定の現状について質問があり、47都道府県20政令都市のうち24自治体で策定されている一方、北海道では確立されていないことが報告され、次の委員会で24自治体の資料を配布することになりました。

なお、4月からは当委員会の所管に(仮称)市民ホールの建設に関する事項が加わることになり、「安全・安心特別委員会」は「安全・安心及び市民ホール建設に関する特別委員会」になりました。

予算審査特別委員会

松井 雅宏 委員長

一般会計

3月8日から15日までの間、延べ54名の委員が質疑に立ち、新年度の事業やまちづくり施策に対して活発な議論が展開されました。本予算には、人口減少時代に対応するための本格的な取り組みとして24事業15億7千万円の予算が計上されており、多くの市民も注目されていたのではないかと思います。

予算案については、各委員から厳しい指摘や多くの提案がなされた後、全会派一致で原案どおり可決しました。

Table with 2 columns: Position (委員長, 副委員長, 委員) and Name (松井雅宏, 松宇金神, etc.)

企業会計

岩田 典一 委員長

3月8日から15日(土・日曜日、議案検討日1日を除く)まで、5日間の日程で、特別会計・企業会計事業予算案、並びに関連議案について慎重審議を行い、延べ48名の委員の的確な質問と理事者側の明快な答弁で無事終了することが出来ました。結果、市立病院事業について、医療収益の伸び悩み、医療経費の増大、又、診療報酬改定の影響など大変厳しい状況であり、付帯決議を付し、全会派一致をもって、原案どおり可決しました。

Table with 2 columns: Position (委員長, 副委員長, 委員) and Name (岩田典一, 岩板竹, etc.)

市議会トピックス

議会改革検討会では、次の事項が協議されました。

- ①議会基本条例については、今後も研修会等を開催することになりました。
②議員定数及び議員報酬については、他市の状況も含め検討していきます。
③閉会中の委員会の開催については議会の承認が得られれば、委員会を開催できるとしました。
④議会の災害時対応マニュアルの作成については、議会改革検討会の実務者会議で作成した「苦小牧市議会災害時対応マニュアル」を平成28年4月1日から施行します。
⑤議会フェイスブックの開設、及び議会のICT化の推進については検討項目とする事を各会派代表が了承しました。

一問一答方式の検証結果等については、裏表紙に詳細を掲載しています。

会派のページ

緑 風

矢嶋 翼・阿久津修一・岩田 典一・金澤 俊
木村 司・竹田 秀泰・宇多 春美・板谷 良久

矢嶋 翼 議員



代表質問
☆「観光」をまちの活性化の大きな柱として、市民参加の取り組みを提案。観光ビジョンで、まちぐるみの推進を目指すとの答弁がありました。

☆東京オリンピックに向けて、外国選手団との交流や合宿誘致に取り組むべきとの提案。関係団体と活動を進めるとの答弁がありました。
☆新しい市民ホールの設置場所は、駅付近の中心街エリアにすべきとの提案。市民アンケートを実施し、ニーズの把握に努めるとの答弁がありました。

☆教員の教科書謝礼問題で教育委員会の教科書採択作業を全面的に見直すべきとの提案。今後は透明性・公正性を確保する仕組みにするとの答弁がありました。

阿久津 修一 議員



☆平成28年度の予算は、政策予算の一般財源は、51億5千万円、早期発注事業として4億

岩田 典一 議員



9千万円、一般会計・特別会計・企業会計合わせて合計1,346億円強となっております。財政的には、経常収支比率が安定ゾーン内で87.1%と財政構造の弾力性を示しており、財政力指数でも道内で3番目という安定した財政となっております。しかし、これから公共施設の老朽化に伴う学校の改築工事や、近い将来市民会館の改築も計画される中、財政もまた大変な時期を迎えようとしているものと思われれます。

☆行政視察で訪れた日田市の日田市民文化会館は、地下1階、地上3階造りで、大ホール(1008席)、小ホール(360席)で施設は自然光を多く取り入れ、随所に地元の日田杉などを使用、県内外から多くの人が利用しています。市は新年度から2カ年かけ、(仮称)苦小牧市民ホール建設検討委員会の内容も含め基本計画を策定する計画です。市民の集う拠点になるように、今回の視察を参考にしたいと思います。

金澤 俊 議員



☆アイスホッケー文化の再構築を!!
平成28年度予算には、コンビニでの証明書交付事業を始めとする市民サービス向上の事業や、中学でのピロリ菌の検査・除菌事業等の予防医療事業、緑ヶ丘野球場や庭球場、サッカー場等のスポーツ施設の大規模改修事業、北光小、緑小の改修、ウトナイ小、拓進小の増築、啓北中、和光中の大規模改修や第16中の新設等のスポーツ施設や学校施設整備事業が多く盛り込まれており高く評価するものです。この中で、特にスポーツ都市宣言50周年の節目に、伸び悩むアイスホッケー人口の増加に向けた取り組み強化や公園リンクの復活による地域で気軽にアイスホッケーを楽しめる環境づくりに力を入れるべきことを提案しました。もはや苦小牧市の文化といえるアイスホッケーに関する取り組みの再構築が必要であると思います。

木村 司 議員

☆第5回定例会において、3月4

竹田 秀泰 議員



日の午前中に議長として本会議場を仕切らせていただきました。今回は、代表質問で、市長の市政方針、教育長の教育行政執行方針に対して、人口ビジョン・総合戦略等様々な考え方を質しました。
☆とまチョップポイント事業については、市の施策・イベントやボランティアに対するポイント付与、公共施設利用に対する付与等期待される所です。しかし一方、市が関与する3年以降の加盟店(各商店)のシステム使用料・事務手数料のあり方、地元カード会社との住み分けや残存ポイントの件など市民、地元事業者がマイナズにならない事業にしなければと感じました。

中に指定管理を目指すとの答弁がありました。

☆後期高齢者の歯科検診が始まりますが、個人負担の考え方を質し、補助事業で個人負担は、無料とし、一人でも多くの方に受診してほしい。との答弁がありました。

☆在宅介護住宅改修費をもっとわかり易くPRすべきではないかと質し、担当窓口などでわかり易い方法を検討していくとの答弁がありました。

宇多 春美 議員



☆平成28年度の予算では「ふくし大作戦!!2016」と「つなごうスポーツ大作戦」がコラボされ多くの事業が示され、質疑しました。講演会、手話体験・講習、健康フェスタ等しっかりとした計画し、多くの市民に参加して頂き、その中で得た知識や喜びを地域作りにかかし、市民と行政が協働し、ふくしのまちづくりを充実してほしいです。
☆放課後児童クラブは、利用料が月額制となりますが、土曜日・臨時休業時も開室し、又閉室も30分延長になり、支援員も1名増の3

名になるなどが整備され安心して預けられる環境になりました。

☆特別支援教育に関して、市内の中学校で支援学級が整備されているが、全教職員に対して特別支援教育の情報共有に努め、研修を実施し資質向上するよう質しました。

板谷 良久 議員



☆国民健康保険料賦課限度額(高所得者が支払う保険料の上限)について、市は27年度から3カ年で上限を引き上げ、国の基準と同額とする計画でしたが、国がさらに基準を引き上げたことから、計画最終年度においてもなお、8万円低くなる事が明らかになりました。これにより国庫助成金が減額される可能性について指摘し、29年度以降の上限の引き上げについて検討される事が明らかになりました。

☆市立病院では、児童精神外来のサポート体制を強化するため、臨床心理士を採用したことが明らかとなりました。また地域包括ケア病棟が開設されたことから、医療ソーシャルワーカー(MSW)の増員の必要性を訴えました。

会派市民

谷川 芳一・桜井 忠

代表質問



谷川 芳一 議員



桜井 忠 議員

1. 将来のまちづくり
 - (1) 苦小牧市人口ビジョン及び総合戦略と財政基盤安定化計画について
 - (2) 苦小牧市観光振興ビジョンと苦小牧観光について
 - (3) 北海道新幹線と北海道観光について
 - (4) 新千歳空港について
 - (5) IR(カジノを含む統合型リゾート)について
 - (6) 中心市街地の再開発について
 - (7) 中央インターチェンジの開設について
 - (8) 企業誘致と法人市民税について
 - (9) 苦小牧駒澤大学について
2. 安心安全・心豊かなまちづくり
 - (1) 伝統文化の継承について
 - (2) 教育
 - (3) 教科書採択について
 - (4) 第16中学校建設について
 - (5) 市立病院

一般会計質問

総務費 総合計画第4期実施計画、職員健康診断、福利厚生会事業他
労働費 障がい者雇用
農水費 後継者対策、農業法人、個人農家への支援他
商工費 ものづくり補助金、観光ビジョン
土木費 澄川山際排水路の改善状況、開発行為
教育費 幼小連携、給食センター
職員費 再任用職員のあり方

特別・企業会計質問

国保 かかりつけ医他
霊園 共同供養塔
水道 料金改定の考え方、空港周辺の水道

公明党議員団

林 光仁・池田 謙次・藤田 広美
神山哲太郎・大西 厚子

【一億総活躍社会】の苦小牧の現状について質し、就業率は30代以降の女性・60歳以上の男女は、全国・全道を下回っていると答弁がありました。「財政健全化」について、本市の固定資産台帳で、老朽化比率を示し活用すべきと求め、国の基準が示された段階で活用を進めると答弁がありました。「ふくし大作戦」で、手話言語条例化について質し、条例制定についての理解が広がるよう、ふくし大作戦事業を着実に実行していくと答弁がありました。「がん全般の対策計画・条例」の策定を求め、30年度の健康増進計画改定時に踏み込んだ内容にする必要があると答弁がありました。「消費者被害防止を目的とする条例」の策定を求め、29年度を目標に消費者教育推進計画の策定を進めると答弁がありました。他、「緑跨線橋の架け替え工事」について、「ワークスポット(求人転職サイト)の機能強化」等について質問しました。



【林 光仁 議員】

代表質問 (抜粋)

改革フォーラム

首藤 孝治・牧田 俊之・越川 慶一
松井 雅宏・矢農 誠

2月定例会では市長の市政方針に対し会派を代表して矢農議員が代表質問を行いました。取り上げたテーマはこれまで会派で継続的に取り組んで来た内容を中心に、少子高齢化対策、財政健全化、行政改革、水素エネルギー、観光振興ビジョン、まちなか再生、防災対策、待機児童対策、市立病院経営、新千歳空港民営化、中小企業振興、ごみ個別収集、ウトナイ地区の中学校新設、学校耐震化、など多岐にわたります。また、続く予算委員会では一般会計に松井議員(委員長)、越川議員、首藤議員。企業会計に矢農議員、牧田議員が配置され、各種の提案を含む質疑を行いました。*****



矢農 誠 議員

代表質問

子ども子育て支援では待機児童対策に関して、27年度開設を計画していた小規模保育施設を開設できなかつた点を指摘し、対策を求めました。また、父子手帳の発行や子育て情報メールサービス「きずなメール」の導入などこれまで求めて来た対策が28年度から導入されることを確認し子育てしやすい環境づくりを求めました。他にも水素エネルギープロジェクト、新千歳空港の民営化、中小企業振興、立地企業サポートなど、会派の仲間がこれまで取り上げてきた地域経済活性化の課題について取り上げました。*****



越川 慶一 議員

予算委員会

【公共施設のWiFi環境の整備】について本庁舎12階の展望回廊や科学センターに導入することを提案しました。「ふるさと納税」について利用の拡大をはかるためクレジットカードでの納税を提案しました。「市民後見センターの開設等」について5月の連休明けに開設の予定で、今後は、市民周知に努めるとの答弁がありました。「夜間・休日急病センター」について診療科目、時間等について再度、市民周知するよう求めました。「学校周辺の交通安全対策」について25年度から取り組んできた事業の有効性から出来るだけ早く他地域も行ってほしいとの答弁がありました。その他「市営住宅」、「職員給与」等について質問しました。



【神山 哲太郎 議員】

一般会計予算委員会 (抜粋)

企業会計予算審査特別委員会にて、「国保事業会計」では収納率、特定健診受診率向上活動、「節目健診制度」導入等、「上下水道事業会計」については給水収益について質疑を進め、今後策定される新水道ビジョンの中で財政運営シミュレーションも提示すると回答が示されました。沼ノ端中継ポンプ場増設工事、コンポスト事業、脱水汚泥量の減量化についても質疑を進めました。*****



牧田 俊之 議員



松井 雅宏 議員

数を見て、拡大を判断すると答弁がありました。「認知症対策の充実」について質し、ほっとカフェは12箇所に拡大。行方不明対策にステッカーの配布。SNSネットワークの事前登録者に試行的にシールを配布。認知症サポーターは、28年度1500人、29年度1800人を目指すと答弁がありました。市立病院の「がん緩和ケアの充実」と「がん患者サロンの充実及び常設化」を求め、外来看護師に緩和ケア教育を進め充実させたい。がん患者サロンは、12回に拡大すると答弁。常設化は院内の狭隘化の解消のため増設を含めた検討を求めました。その他、「高丘霊園」の区画分譲のコンパクト化を求めました。



【大西 厚子 議員】

「特定健診の受診率向上」について、通院治療中の方への優先的な受診勧奨や、実施医療機関内での受診予約の

予算審査特別委員会では委員長を務め、関係者のご助力のもと活発な議論が展開されるとともに効果的な運営ができました。総務委員会では、私が4年前から求めていた時代に即した準防火地域の指定に関して縮小に向けた報告があり、この間の見直しに向けた取り組みを評価すると共に市民周知や関係機関に十分な説明をしていくことを求めました。*****



首藤 孝治 議員

第5回定例会が、皆様のご協力のもと無事に終了し、心から御礼申し上げます。新年度予算審議も、市民の皆様様の血税を無駄にさせず、最も価値的に効率よく執行されるようにとの、議員各位の白熱した質疑に感謝いたします。今後市民の皆様のため、地域の発展のため、苫小牧市議会、一丸となり取り組んで参りますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。



【池田 謙次 議長】

民主・市民連合

代表 小山 征三・副代表 西野 茂樹
幹事長 松尾 省勝・会計幹事 岩田 薫

これからの苫小牧のまちづくり
に重要な課題は何か、優先すべき
は何か、という観点から主要なテ

代表質問(西野茂樹議員)

市がイオンとWAOON提携へ
平成28年度から市が導入する
「とまチョップカード」は、イオ
ンリテール(株)が取り組んでい
る「**当地WAOON**」を活用するこ
とが明らかとなりました。ご当地
WAOONは、全国各地で利用した
際、利用金額の0.1%をイオンが自
治体へ寄附する行為で、札幌市は
文化芸術振興、旭川市は中心市街
地のにぎわい創出、函館市は子育
て支援事業に活用されています。
本市の場合は、さらに地域ポイ
ントを付与するものであることか
ら私たちの会派では、自治体がイ
オンと「**WAOON提携**」を結ぶこ
とで公平性、中立性は損なわれな
いのか、また、平成17年にイオン
が進出し、苦境に立たされている
市内の商店への配慮について見解
を求めました。市側は、地域振興
を目指す提携であり、実施主体は
市商連であることを示しました。

今議会を振り返って

イマについて取り上げました。特
に苫小牧版総合戦略について各事
業の内容や実施時期が明記され
ていないなど、示された計画で果
たして**人口減少対策**と成り得るの
か、その効果に疑問を持っている
からです。
私たちの会派では、何としても
人口の減らないまちづくりを最優
先課題としてあらゆる施策を動員
する必要があると考えています。

<p>1 政治姿勢</p> <p>(1) まちづくりの姿勢</p> <p>ア 共助のまちづくりについて</p> <p>イ IRを初めとする新たな産業誘致について</p> <p>(2) 地方創生、総合戦略について</p> <p>(3) 特別職、管理職の報酬・手当の削減について</p> <p>(4) 若者が定着するまちづくりについて</p> <p>2 基本政策</p> <p>(1) 職員配置適正化方針について</p> <p>(2) 公共施設等総合管理計画について</p>	<p>3 重点施策</p> <p>(1) 災害に備えたまちづくり</p> <p>ア 活断層の対応について</p> <p>イ 液状化対策について</p> <p>4 主要施策</p> <p>(1) 市立病院について</p> <p>(2) 空港政策及び新千歳空港周辺土地利用構想について</p> <p>(3) 苫東開発について</p> <p>(4) 消防・救急体制の強化について</p>
---	--

西野茂樹 議員

そのためには、相当思い切った施
策を実行すべきと、2人目からの
保育料の無料化と、市独自の雇用
促進税制の導入を強く求めまし
た。市側からは、**2人目の保育料
無料化は人口減少対策として有効**
と認めつつ、財源面から実態は難
しい。また、雇用の優遇税制につ
いては、今後のアンケート調査で
検討する事を示しました。

市民ホールの建設では、これま
で10回の建設検討委員会を開催し
ているにも関わらず候補地など議
会へ説明していないことを指摘。
市長は「**議会と一緒に検討し、合
意形成をしなければならぬ案件
である**」ことを示しました。
豊川コミセンの改築では、平成
29年度から各種証明のコンビニ交
付を予定していることから**地域住
民の利便性向上**のため証明取扱所
を出張所に昇格すべきと提案しま
した。市長は、せつかくの機会な
ので検討したい旨を示しました。

小山征三議員の予算委員会質疑

「市長名で監査請求を行い、監査委
員に報告し、責任の所在について判
断を仰いでいる」と答弁しました。
★**安全安心な霊園の整備**
工藤 良一

国民保険事業が、北海道に移管
する事が決まっており、平成30年
スタートに向けて、具体的協議が
行われる事となりました。
水道事業会計では、昨年から販
売を開始した、**とまチョップ水**
を、平成28年度5万本の販売を目
指す事が明らかになりました。
下水道事業では、大雨対策3カ
年事業の2年目を迎え、雨水管整
備を継続するとともに、沼ノ端鉄
北地区の人口増加に対応した、**沼
ノ端ポンプ場の増設**を3カ年で行
う事となりました。

携を深める取り組みが進んでいた
森町と室蘭を結び、「**森蘭航路**」
の実証実験から、ツアー商品の検
討を明らかにしました。
新千歳空港からの誘客について
は、新幹線開業後の一定期間の利
用客の動向を注視し、傾向を掴ん
だ上での誘客戦略を見極めるとの
答弁を引き出しました。
また、「**フェイスブック**」によ
る、生活道路や公園の破損をコメ
ント利用し、市民からの情報収集
をすべきと提案しました。

岩田 薫議員の予算委員会質疑

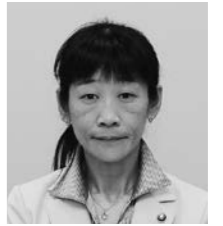
昨年6月に
第2霊園内の
安全対策を求
めた際、「計
画的に実施す
る」と答弁したにも関わらず予算
化していないことを指摘し、あ
まのベンチや木製の階段などが
危険な状態であることから、立て
看板などによる注意喚起をするこ
とを提案しました。
★**公設地方卸売場の労働環境**
青果市場では、荷物の積み下ろ
しに使用するフォークリフトの一
部に、ガソリンを燃料にするもの
があり、排気ガスが場内に充満す
ることがあります。これを解消す
るためにバッテリー式のフォーク
リフトの導入が必要ではないか、
そして、導入を進めるため市とし
ての補助などを、考えるべきでは
ないかと提案しました。
※議会の詳細については、日本共
産党市議団ホームページをご覧
ください。

日本共産党市議団

小野寺幸恵・渡辺 満
工藤 良一・富岡 隆

代表質問

小野寺 幸恵



▽**平和行政**
「憲法の恒
久平和の実現
と非核三原則
の趣旨から制
定したのが非
核平和都市条例であり、安保法制
はその理念と真逆ではないか」と
認識を求めました。また、日本国
憲法施行70年の節目であることか
ら、平和のモニユメント設置を提
案しました。市長は「安保法制は
日本と世界の平和と安全を確かな
ものにするためである」との認識
を示し、モニユメントについては
「考えていないが、別の形で次世
代に継承することを考えたい」と
答弁しました。
▽**総合戦略と人口減少対策**
経済的理由で結婚を控えたり、
将来の子どもを「0人」と回答し
ている若者が多い現状に触れ、総
合戦略の優先施策に位置付けるこ
とを提案しました。
また、人口減少対策の一環とし
て、子どもの医療費助成の年齢拡
大や市営住宅への「新婚優先枠」

の創設を求めました。さらに、苫
小牧駒澤大学に市内から通うこと
を条件に、無利子の奨学金貸付制
度を創設することを提案し、「効果
があると思う」と、前向きな答
弁がありました。
▽**まちなかの活性化**
安全対策のためにサンプラザビ
ルの囲い込みが計画されているこ
とから、市のPRを取り入れた明
るい囲いの検討や、市民のシンボ
ルになる駅前にするため「市民参
加型」で駅前交通広場再整備を進
めることを提案しました。

予算委員会

★児童相談所の分室設置

富岡 隆



児童相談所
の分室設置に
ついて、市は
長い間要請
し、27年度か
ら「重点要望」としているにも関
わらず、実現していない現状につ
いてただしました。市長は、「分
室設置には北海道の組織改革や組
合協議が必要」、「道議会では苫小
牧事情ばかりとヤジも飛ぶ」など
の説明をしましたが、「1日も早

く理解してもらえよう」に北海道
と協議を繰り返していく」と答弁
しました。
★**ウトナイ放課後クラブ**
富岡 隆

児童数が増加するウトナイ小学
校放課後クラブにおいて、新1年
生の入学で待機児童が生まれる可
能性が大きいことから、対策を求
めました。教育部長は「待機児童
を発生させてはならない。なんと
か早く解決できる対応をしたい」
と答弁しました。
★**グループホームの運営改善**
渡辺 満



グループホ
ームの1事業
者が、管理運
営について再
三の指導を受
けながらも改善せずに、「勧告」
指導されている問題を指摘し、改
善を求めました。担当次長は「通
常では考えられない」との認識を
示し、「早期の改善・指導援助を
する」と答弁しました。
★**国民健康保険**
渡辺 満

昨年発生した国保税徴収金の紛
失事故について質問し、副市長は

【スポット】 一問一答方式 今までとどう違うの？

現行の 一括質問・一括答弁方式

一括質問

まず議員がすべての質問を一度に行います。



一括答弁

質問に対し、市長や担当の部長等が順次答えます。

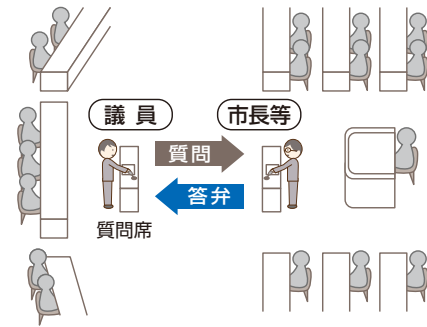


このやりとりを3回まで繰り返すことができます。

再質問 → 再答弁 → 再々質問 → 再々答弁

今回試行の 一問一答方式

対面方式で一項目ごとに質問と答弁を行います。



イメージ図

今年の6月定例会から、本会議でも一問一答での質疑・答弁が試行されます。市民の皆さんによりわかりやすい議会にするために取り組みを進めていきます。

- ① 質疑方式の選択の時に、一括で行う場合は宣言をする。
 - ② 常任委員会の時間制限は設けない。
 - ③ 本会議の質問席での補助者については認めない。
 - ④ 本会議での一般質問、議案等質疑の際の選択制については、試行期間は選択制とする。
 - ⑤ 市長などからの質問・質疑の趣旨確認については認める。
- 以上のことを、平成28年6月定例会から実施することとしました。



新たに設置された質問席▶

議会からのお知らせ

【第6回市議会定例会 議会日程のお知らせ】

月 日	内 容	
6月22日(水)	陳情締切り(17:00まで)	
6月23日(木)	本 会 議	報告・一般質問
6月24日(金) ～28日(火)	本 会 議	一般質問・議案審議
6月29日(水)	常任委員会	
6月30日(木)	特別委員会	
7月1日(金)	本 会 議	残余議案・委員会報告・その他

※日程などについては変更になる場合があります。
議会日程は議会運営委員会にて協議され、定例会初日の本会議で決定されます。
事前に議会事務局までお問い合わせください。※土・日・祝日は休業。
※常任委員会(総務、厚生、文教経済、建設)
※特別委員会(総合開発、安全・安心及び市民ホール建設に関する)

◆ご意見・ご感想お寄せください

「とまこまい市議会だより」についてのご意見・ご感想をお寄せください。今後の本誌編集の参考にさせていただきます。
また、議会についてのご意見などありましたら併せてお聞かせください。

苫小牧市議会事務局

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号
TEL 0144-32-6785 FAX 0144-33-1839
E-mail: gikai-soumu@city.tomakomai.hokkaido.jp

編 集 後 記

突然発生した「熊本地震」では、時間の経過と共に甚大な被害状況が伝わり、被災者の避難場所における支援体制についても課題が取り沙汰されております。わがまちとしても、対応についての議論を更に深める必要がある中で、日頃からの災害に対する備えを考えることが、身を守るために最優先と認識しています。災害に強いまちづくりについても、紙面を活用し、皆さんと共に考えていきたいと思っております。

とまこまい市議会だより
編集委員 松尾 省 勝

市民のみなさん議会を傍聴してみませんか

議会はどなたでも傍聴することができます。手続きは簡単。受付票に住所・氏名・年齢を記入するだけです。本会議(本会議場11階)、常任委員会・特別委員会(9.10階の委員会室)で傍聴ができます。

第5回定例会の傍聴者数は、本会議・常任委員会・特別委員会・議会改革検討会あわせて**88名**、ホームページのアクセス件数では、トップページ**2,462件**、中継画面は、**1,818件**となりました。

とまこまい市議会だより編集委員会

金澤 俊・越川 慶一・宇多 春美・牧田 俊之
神山哲太郎・大西 厚子・工藤 良一・松尾 省勝
桜井 忠

市議会はインターネットでも中継(生中継・録画中継)されています。あわせて、市議会ホームページもご覧ください。

検索は

次号発行予定は8月上旬の予定です。